

## 2012年5月6日に発生した竜巻によって被災したパイプハウスの被災調査

農地基盤工学研究領域 農業施設工学担当  
森山英樹

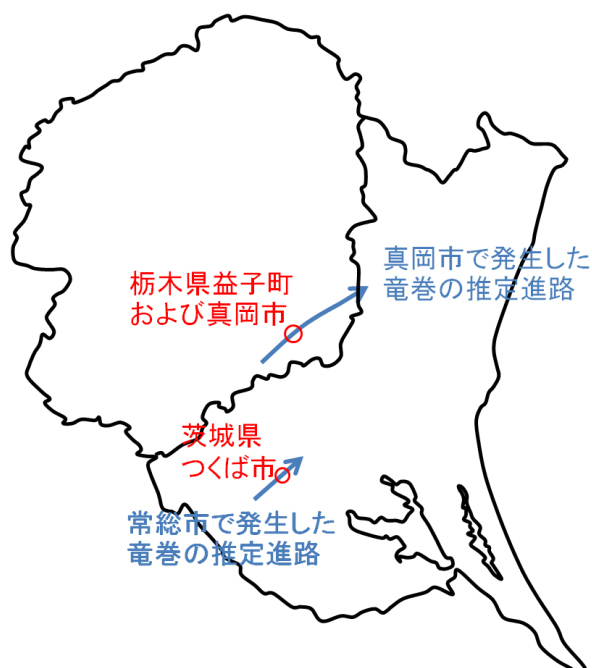
2012年5月6日に北関東で発生した竜巻による突風で、多数の園芸施設に被害が生じました。将来の同種の被害を極力軽減するために、被害の実態調査を行いました。

調査者:農地基盤工学研究領域 農業施設工学担当主任研究員 森山英樹

調査日:2012年5月7日および5月8日

調査地:茨城県つくば市、栃木県益子町および真岡市

2012年5月6日に、茨城県、栃木県および福島県において4本の竜巻が同時多発的に発生しました。そのうち、藤田スケールがF2もしくはF1~F2、かつ園芸施設の被災程度が大きかった2本の竜巻によって被災したパイプハウスを調査しました。気象概況と併せて、被災要因等を分析中であり、その結果は後日お知らせする予定です



栃木県真岡市および茨城県常総市で発生した竜巻の推定進路と調査地



茨城県つくば市泉の被災パイプハウス。16棟が全壊しました。腐蝕防止等のメンテナンス等の強風対策もしっかり施されていましたが、竜巻進路の直下にあったこともあり、被災を免れませんでした。台風の場合と異なり、複雑な風向であった痕跡があります。



栃木県真岡市西田井の被災パイプハウス。アーチパイプが地際から破断、折損していました。築年数が古く、アーチパイプの著しい腐蝕がみられました。同じパイプハウス団地内でも、数100m離れると被災の痕跡は全くありません。